

様式第4号

課題名	高齢者における破裂脳動脈瘤急性期治療に関する検討
承認番号	2021-6 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 脳神経外科部 氏名 竹本 安範
研究期間	(西暦) 2021 年 5 月 ~ (西暦) 2023 年 3 月
研究の意義・目的	<p>本邦では高齢化の進行に伴い、高齢者に対する破裂脳動脈瘤急性期治療を行う機会も増加しています。一方で、高齢者は元来日常生活動作が低下していたり、併存疾患を有していたりすることが多く、治療（クリッピング術またはコイル塞栓術）後の脳血管攣縮期の全身管理も加味すると必ずしも良好な治療成績が得られるわけではありません。</p> <p>高齢者における破裂脳動脈瘤急性期治療に関して、治療法（クリッピング/コイル）、脳血管攣縮期の全身管理など良好転帰あるいは不良転帰につながる点を検討し、考察することで今後の高齢者の破裂脳動脈瘤急性期治療成績の向上を目指します。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	2018 年 4 月～2021 年 3 月に当院で破裂脳動脈瘤急性期治療を行った入院患者さんに関して、年齢、性別、併存疾患などの患者背景や重症度（WFNS grade 等）、動脈瘤の場所や大きさ、治療法（クリッピング/コイル）、治療転帰（modified rankin scale）、合併症などを後方視的に検討します。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	<p>研究用の番号を付与し、個人が特定できる情報とは切り離して管理するため、氏名等の個人が特定される情報は匿名化します。</p> <p>学会発表や論文により院外へ公開する場合でも、個人が特定されることはありません。本研究で収集したデータは、本研究にのみ使用します。</p>
利用又は提供する 試料・情報の項目	年齢、性別、動脈瘤局在、くも膜下出血重症度、治療法、30 日後 modified rankin scale、90 日後 modified rankin scale、合併症の有無
試料・情報を 利用する者の範囲	当院脳神経外科医師（研究責任者 竹本 安範）
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	脳神経外科部 氏名 竹本 安範
問い合わせ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 脳神経外科部 氏名 竹本 安範 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101</p>

